

令和 7 年度 第 1 回
大野市文化財保存活用地域計画推進協議会
会 議 録

日 時 令和 7 年 6 月 2 7 日（金） 1 0 : 0 0 ～ 1 1 : 3 0
場 所 学びの里「めいりん」 2 階 洋室（大）

大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課

○教育委員会 教育長
○事務局 4 名

3 教育長あいさつ

さて、昨年度の同時期のこの会議でもお話しさせていただいたが、身近なことでは、おおの遺産にも認定いただいた阿難祖領家区と阿難祖地頭方区の「阿難祖八坂神社の祭礼」にて、今年の開催は7月15日になるが、昨年度は大雨の中でも地域で準備を行い開催した。文化財の保存と活用について、大野市文化財保存活用計画の中では包括的に広く捉えているが、このような一つ一つの小さなことからその意識を持つていくことが大事だと感じている。

4 会長あいさつ

本計画ではその内容は幅広い分野にわたっており、自分たちの住んでいるところに目を向けてもらうという意味でも重要である。人口減少も進む中、ここで生活していくうえにおいて、安心・安全の手段にもつながっている。

各委員におかれては、すでに事前に配布された今回の資料を見ていただいていると思うが、各措置（事業）の進捗確認のほか、今年度は計画の見直し修正があり、ぜひ、それぞれの立場から活発なご意見をいただければと思う。

5 議 事

(1) 令和6年度 措置（事業）の進捗等について 資料1～4

- ・事務局より資料 1～4 にて説明（欠席委員からの評価コメントの紹介含む）。

※以下、欠席委員 評価コメント

昨年度の「調査研究・保存・活用の課題と方針」と「関連文化財群」の計 79 の措置の取り組み状況が、ほぼすべて「概ね順調」以上となっています。

限られた予算や人員のなかで、このように多くの事業に取り組み、関係各課も含め大野市全体でこの地域計画を実行されていることは、大いに評価されるものと思います。

今年度は地域計画の見直しも予定されておりますが、来年度も着実に取り組まれるものと大いに期待しております。

・その後質疑応答等

<質疑・意見等>

委員： 資料 3 の一番右側の % は何を示しているのか。

事務局： それぞれの施設において、上段は昨年度と令和 5 年度との比較、下段は昨年度とコロナ前である令和元年度との比較となっている。

100% を超えていれば昨年度の入館者数の方が過去を上回ったことになるが、切っていると、過去の方が多いということになる。

委員： 資料 1 の No. 21 に関連して、今年度末、小山小学校や阪谷小学校はそれぞれ、有終南小学校、富田小学校への統合となるが、阪谷などは星空の学習やドロリンピックなど独自の取り組みを持っている。すでに統合となった乾側小学校などでも図書事業などが続けられているが、独自の文化の活動を続けてほしい。

また、同じく資料 1 の No. 32 に関しては、古民家ギャラリーのみならず、最近ではお寺アートなどの取り組みもなされている。しかしながら、より良いものにするために、展示環境の改善などへの助成などでもできるのではないかと思います。こちらの方にもぜひ目を向けていただきたい。

教育長： 小学校のそれぞれ独自の学習取り組みについては把握している。ただいま、それぞれ小学校の再編準備委員会を立ち上げ、その中で協議・調整を重ねている。そういった独自の取り組みをうまくつなげていきたいと考えている。

市職委員： お寺アートのような取り組みについて担当課としてはうれしく思っており、今後も取り組んでいきたいと考えている。補助については、

市の文化事業補助金などで積極的に補助ができればと思う。

委員：まず、資料２の４頁目の化石に関する部分であるが、調査研究についてはここにもあるように市学芸員が精力的に研究し、学会などにも発表をして順調であると感じている。また、今年度から、ホロッサにもその分野の学科を出た専門の職員が配置され、ありがたいことだと思う。

そういった中で気になることとして、今年からホロッサでは、体験について、最初の説明を１０分程度のＶＴＲで行うと聞いた。また、これまでの基本であったネット予約をやめるというのも聞いたがどうか。予約制がなくなると、繁忙期においてはせっかく来ても体験ができないという方が出てくるのではないか。

また、化石保護監視員については、今年は現状の傾向としては、県外、特に中京からの入りが少なく、盗掘が少ないと感じている。ただし、これは国道１５８号の通行止めの影響であり、通れるようになった後はこれまでのように心配がある。そういった中で１０名でのパトロールには限界がある。できれば現地の和泉地区の方で、監視員の増員をしていただければと思う。

次に、同じく資料２の５頁目、星空に関する部分であるが、今度の７月１９日、２０日には南六呂師で彗星会議が行われるが、それと時を同じくして、六呂師のオートキャンプ場がオープンされる。喜ばしいことだが、オートキャンプ場ということで車のヘッドライトの光害を心配する。そのあたりの対策はどうか。

事務局：当該学芸員については今回会議を欠席しているが、まさに古生物学会の方に研究発表のため参加している。

パトロールについては、監視員のほか、森林組合の方へも協力をお願いしている。盗掘の恐れがある候補箇所があれば重点的に対応していきたいと思う。

市職委員：ホロッサでの動画については、発掘体験の前の説明をＶＴＲ動画で考えている。また、体験受付についてはこれまでどおり予約が基本であり、予約なしの飛び込みでも空きがあれば参加可能という対応になる。

また、オートキャンプ場についてであるが、細かく言うと、車のヘッドライトは光害の対象とはならず、オートキャンプ場の施設照明についてはすべて光害に対応した照明となっている。ただし、委員がおっしゃるとおり車のヘッドライトの星空観望への影響も懸念されるので、観望エリアの設定や施設利用者へのお願いなどを行って対応を考えている。

委員： V T Rは確かに職員の負担軽減という点で有効であるが、やはり生の説明を聞くというのは重要である。V T Rはその補足的な運用に役立てていただければと思う。観光の面だけでなく、学びの場という観点での運用が大事かと思う。

(2) 地域計画の見直し(修正)とそのスケジュールについて 資料 5

・事務局より資料5にて説明。質疑等特になし。

会長： 本計画については作成時に相当揉んだうえで策定されている。ほんとに大事なところの協議になるかと思うが、各委員においてはそれぞれ関係する部分において修正・意見等お願いしたい。

(3) 前期計画期間の総括(案)について 資料 6

・事務局より資料6にて説明。その後意見等

※事務局より13頁No.2中の『尾形洪庵全集』→『緒方洪庵全集』の訂正報告
<意見等>

委員： 前期総括の説明を聞いて、すごいことに関わっているのだと思った。聞いている中で、子ども達に楽しい経験をさせること、そこからつながる「継承」が肝だと思う。これだけやっている中で頑張っておいそれとは言えないが、お寺を活用して使っていただければと思った。

また、文化財群9の「食の営み」における食べ物・農業の重要性を感じた。子ども達への稲作体験、米づくり体験をしてほしいと思った。

会長： 総括の中で多くの取り組みは予定どおり進んでおり、できていないところはできていないときちんと評価がなされている。「順調」と「概ね順調」のライン(境)については、現状で順調に進めているが、こ

れだけのことをやっていくためのスタッフ面での懸念（高齢化など）というところに関係しているのかなと思った。そこも含めて今年度協議していければと思う。

6 その他 特になし

7 閉会（副会長）

活発なご意見等、感謝する。

前期の取り組み進捗報告を受け、後半もこれらの保護、継承を進めていかなければ思うとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）の活用もできればと感じた。

大野市は観光の交流が200万人と言われているが、今回の資料の施設来館者数をみると物足りない感じを受けた。これは言い換えると、それだけのポテンシャルがあるが、まだまだ知られていないとも言え、情報の発信が重要だと感じた。

今後の会議でもいろいろな意見をいただければと思う。本日は、お疲れ様でした。